

2018

せきれい

宝塚野鳥の会会報
Vol 105 SUMMER



宝塚野鳥の会

せきれい 2018年 夏号

目 次

宝塚野鳥の会趣旨	川合 寛	2
宝塚野鳥の会標語	河中 三朗	2
行事		
佐賀 東よか干潟探鳥会	川道 克昌	3
第28回野鳥作品展開催	石田 俊二	8
寄稿		
三太郎日記 出水のツルに誘われて	彦根 宏道	12
北海道探鳥記	持田 倫子	18
ハイイロヒレアシシギ 超珍鳥、その悲喜こもごもの観察記	山尾 文明	25
ハイイロヒレアシシギ 無念の表情 落胆そして暗涙	石田 俊二	26
タイ・プーケット島でミニ探鳥会	山本 滯	28
フォトコーナー	持田倫子・原田昭子	29
野鳥川柳	武田 玲子	31
事務局便り		
行事予定7月～9月	片山 忠	32
活動報告4月～6月	〃	33
定例探鳥会案内7月～8月	事務局	34
会員異動(3月～5月)	松村 伸	
お知らせ	事務局	
定例探鳥会で見られた野鳥リスト3月～5月	石田 俊二	35
鳥類調査	片山 忠	37
野鳥閑話		
野鳥閑話	石田 俊二	37
新聞拾い読み	松村 伸	38
裏表紙によせて	松村 基子	42
表紙画	西村 亘	
裏表紙画	松村 基子	



裏表紙に寄せて

ホトトギス

五月十三日、母の日の未明ホトトギスの声で目が覚めた。
今年初めてのホトトギスが来た！ ウグイスがケキョケキョと鳴きたてる。
警戒音とホトトギスのトッキョキョカキョク キョキョ！！ と、けたたましく鳴く声に交じってホーホケキョと鳴く声もするこの騒ぎ。これは托卵をしているところなのか？ 時計は4時50分、東の空は白んでいる。

ウグイスの巣に産み付けるのはホトトギスの♀、騒いでいるのは♂のホトトギスとウグイスのよう。托卵を「目の当たり」ではなく「耳の当たり」にして一人ドキドキしてしまった。

日本中に夏鳥として、田植えや生活の場に季節を知らせるのは、あの独特の大きな声の所以であろう。地方の呼び方でも50種以上あるそう。

昔から百人一首に、小説に、俳句や和歌に、中国伝説では王が遠征の途中で病死したのを悼んで、不如帰(故郷に帰りたいと鳴く鳥)という名がついているとか、本当に身近な鳥のように思う。

今年は、花も鳥も季節を早めて訪れている。日本の里山では、うす紅色の「タニウツギ」の花が似合う。卵の花の匂う垣根は、もうあまり見られないが、この季節になると「夏は来ぬ」の曲を口ずさんでしまう。

早苗が植えつけられ、水をたたえた田んぼに白い雪を残した山々が映る、わが故郷の風景を懐かしく思い出している。こんな車窓を楽しみに、ローカル線の旅に出ようか。

松村基子

★ホトトギス L=28cm カッコウ目 カッコウ科

ヒヨドリよりもわずかに大きく、ハトよりも小さい。頭部と背中が灰色で、翼と尾羽は黒褐色をしている。胸と腹は白色で黒い横縞が入るが、カッコウやツツドリよりも細く薄い。目のまわりには、黄色いアイリングがある。

日本には、夏鳥として渡来する。カッコウなどと同じく食性は肉食性で、特にケムシなどを好んで食べる。また、自分で子育てをせず、ウグイス等に托卵する習性がある。♂の声はけたたましく「キョッキョッキョッキョキョキョ」ともきこえる。早朝からよく鳴き、夜に鳴くこともある。その鳴き声の聞きなしとして、「テッペンカケタカ」、「特許許可局」が知られる。

出典 ウィキペディア



ホトトギス

せきれい 通刊 105 号

発行日 平成 30 年 7 月 1 日 (夏号) (年 4 回発行)

発行所 宝塚野鳥の会事務局

〒665-0046 宝塚市福井町 26-14 片山 忠 方

編 集 せきれい編集委員会

ホームページ <http://yachou-takarazuka.life.cocan.jp/>

【無断禁転載】